

日新弘道館塾 夏合宿 2012/07/28～29

「古代史のロマン」と「自然界の大切さ」を体験を通して学ぶ

山梨県富士吉田市で、夏合宿を一泊二日で行いました。

第1日目 7月28日（土）午前10時～

日新弘道館塾が、この富士山北麓の富士吉田市大明見で稲作を始めてからまる4年、今回で5度目の田植えとなりました。

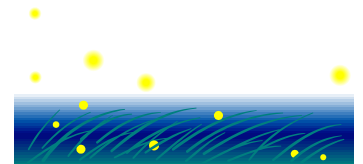
田んぼには生命が満ちあふれ、オタマジャクシやカエルはもちろんのこと、ヤゴやゲンゴウロウ、タニシやカワニナと色々な水生生物が生きています。今年もカモが飛来し、その数も日を追うごとに増え、かわいい姿を見せてくれています。



この4年間、夏の太陽の強い日差しが、田んぼに張られた水に照り返すなか、腰をかがめ、稲と稲の間の草を根から取る作業に汗を流し、吹く風の涼しさに感謝し、「こうやってお米ができていくのだ」と大自然の恵みに感謝しつつ、食の大切さ、農業の大切さを実体験を通して学んできました。

私たちが稲作を始めた頃から、蛍が復活し始めました。人の手によって、幼虫を入れることも、カワニナを入れることもなく、この稲作をすることで復活してきたのです。

平成21年度夏合宿で、これまでに見たこともないほどの数の蛍を目の当たりにし、塾生たちは感激の声を上げました。そして、今年もまた、蛍がその姿を見せてくれました。



私たちが生き方を変えることで、まだ地球は再生していくのだと実感しました。

人と蛍は長い間、共に暮らしてきたのです。蛍が生息できる場所こそ、人にとっても安心して暮らせる環境なのではないでしょうか。

きれいな水や空気、健全な大地やみどり、太陽の光が、ホタルの生息の5つの要素といわれます。



自然信仰のもと、大自然に畏敬の念を持ち、すべての生命と共存共栄をし続けてきた太古からの日本人の心を、次世代の若者や青少年に受け継いでいってもらうための体験ができる場の提供を続けていきたいと思います。

午後1時30分～4時30分

小明見・明見湖よりトレッキングに出発 (^_^)v

地元小明見の自治会長であり、めだかの学校勝俣源一校長先生に案内をお願いしました。



葛飾北斎が富嶽百景
76番目で明見湖の不二を描いた記念碑



はす池には、龍神と生け贄になった乙女と鎌倉の武士の伝説がありました。

お伊勢山の太神社にある徐福の祠。徐福やヤマトタケルのミコトの伝説を話してくれました。



てんどり岩の天の岩戸伝説とタジカラオが岩戸のカギを捨てた錠川とトビラオ

道祖神・浅間神社・阿弥陀堂のいわれや伝説を聞き、暑さに負けず堂尾山に登ります。



堂尾山山頂から見る不二山は絶景で、北斎がここからの不二山を最後に筆を置いたそうです。倉見・暮地・あさひ・明見などの地名の由来を教えてくださいました。



養蚕の神様
日かげ神社



徐福公園の徐福像



トレッキング終了後は明見湖で釣りをしました。
外来種ブルーギルを釣り上げました。



第2日目 7月29日(日)午前4時半頃より男子は釣りに行き、ブルーギルを20匹程捕獲。



朝食を済ませ、

午前7時頃よりトーンチャイムの練習。

鶴先生が九州から、トーンチャイムの指導に来て下さいました。普段はやんちゃな男の子たちも、とても真剣に先生の指導に耳をかたむけ、率先して練習に取り組んでいました。

午後3時 蛍復活祭に参加

トーンチャイムの演奏を発表させて頂きました。感激の瞬間です。



蛍復活祭終了後に NPO 地球主催の行事が行われました。

1. 宝さがし&蛍クイズ かくされた20枚の茶封筒の中には、蛍のクイズが書かれてあり、探し出した人はそのクイズに答えます。
正解者には賞品も！ みんな、蛍博士を目指してガンバロ～(^)/
2. 手押し相撲大会 「みあって、みあって、はっけよい、のこった のこった」



3. パン食い競争リレー 平田富峰先生の合図と共に「よ～いドン」



4. ヨーヨー釣り 大人の方が真剣に遊んでいますよ～！



大勢の方々のご協力して下さったおかげで、無事夏合宿修練会を終えることができました。塾生たちにとって、今年も、貴重な体験ができました。ありがとうございました。蛍の観賞もできました。

5. バイキング
手作りのカレーライス・
サラダ・スイーツ・
お漬け物等々美味しかったあ！



日新弘道館塾【夏合宿】2010. 7. 24～25

『蛍が生きていける自然に戻すために、今、私達ができること』(稲作の実践による蛍の復活)

〈第一日目〉



参加者全員（大人18名・大学生1名・高校生1名・中学生2名・小学生10名・幼稚園児2名・乳幼児2名）
計36名での夏合宿がスタートしました。

宿泊先に移動し、昼食をすませ荷物を置き、塾生と指導者は徒歩で桜並木に向かいました。父母会のみなさんは、車で移動し、チラシ配りと桜並木の環境整備（枝落としや草刈りなど）をされました。



桜並木に向かう道中でお会いする方（山梨県内外から来られた方々）と近隣にお住まいの方に、15時より、「蛍復活祭」とパネル展が行われる紹介のチラシを、塾生と父母会の方で、約100枚ずつお渡ししました。塾生たちは、自分たちで作ったチラシを持ち、一生懸命、キラキラの笑顔で説明をしていました。



それまで晴天だったのが、「蛍復活祭」式典開始にあわせたかのように、大粒の雨が降り始めました。実は、蛍は晴天の時は出てくるのが少ないのです。雨上がりのむしむしした夜の方が、姿を現しやすいので、これなら蛍の観察ができるかもしれないと、天からの恵みの雨に感謝をしました。

蛍復活祭

7月22～23日に塾生&父母会で作成した、「蛍が生きていける環境」や「生態」のパネルと、日新弘道館塾の活動のパネルを参列された方に説明しました。



配ったチラシを見て、東京から合宿で大明見に来ていた小学生のバスケットチームのみなさんが、見学に来られました。自家製の梅ジュース&シソジュースをみなさんにお配りしました。



蛍生息地での、水質調査と水生生物観察



カワニナ(蛍の幼虫のエサ)がいっぱいいるよ！ミズカマキリやカエルもいるね。



水路と田んぼの水温って、こんなに違うんだ。



水路の水と、試薬を混ぜて、5分待つ。うわあ！色が変わった。水質は良好です。



田んぼには、ヤゴからかえりたてのトンボやタガメもいました。

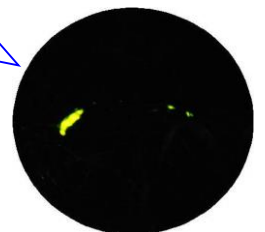


桜並木でのパネル展



山梨と神奈川の方の協力で、美味しい食事をいただきました。ありがとうございました。

そ〜っとのぞいてみると、蛍が姿を見せてくれました。



〈第二日目〉



丸い虹



朝日の見える場所まで、みんなでお散歩。エネルギーいっぱい朝日を浴びて、帰り道はラジオ体操をしながら宿舎へ。

朝食をすませた後、
「右向け、右」「左向け、左」「回れ右」「全体前へ進め」「番号、始め」等々、元気いっぱい声を出しながら、体を動かしました。



うわあ！すごい。ツリーハウス
みたい。デッキができたんだ。
ここで早く何かしたいね。



夏合宿最後の予定は、富士吉田市「歴史民俗博物館」見学です。富士山の麓に住む人の環境や歴史や信仰がどのようなものだったのかを見学し解散しました。大勢の方のご協力で、今年も夏合宿が行えました。真にありがとうございました。